

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/3 県 2/3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	263	周産期医療協議会委員報償費
旅費	393	周産期医療協議会委員旅費、業務旅費
需用費	13	協議会・研修会資料
役務費	23	郵送代
使用料	24	協議会・研修会会場使用料
負担金	0	
合計	716	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・周産期医療の体制構築に係る指針
- ・第7期岐阜県保健医療計画 第3部－第2章－第9節 周産期医療対策

(2) 国・他県の状況

- ・周産期医療の体制構築に係る指針において、都道府県は周産期医療協議会を設置し、周産期医療体制の整備に関する協議を行うこと、周産期医療関係者に対する研修を行うことを掲げている。

(3) 後年度の財政負担

- ・県において、周産期に関する体制整備、新たな課題等への対応の検討が必要であり、今後も継続して事業を実施していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・周産期医療の体制構築に係る指針により都道府県の役割として周産期医療体制整備が掲げられているため、県が事業を実施する必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 周産期に関する課題について各関係機関が情報を共有し、課題解決に向け協議し、より安心して子どもを産み、育てられる体制を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

周産期の体制を整備し、関係機関の連携の強化、保健医療従事者の質の向上が本事業の目的であり、目標の達成度を定量的な指標で表すことができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 （1）周産期医療協議会の開催 令和3年1月25日 小児周産期分野での災害対応体制の整備等、新たな周産期医療の課題を含め、周産期医療体制に関する事項について協議を行った。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	周産期医療体制に関する情報の共有及び課題の検討を行うことで、より良い周産期医療体制の整備につながるため、事業の必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	周産期に関わる医師を中心に構成された協議会であるため、直面する現場の課題や最新の情報等を共有でき、体制の見直し等に反映できる。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	周産期に関わる医師を中心に一同に会し、協議を行うことで、時勢の変化に対応した周産期医療体制を整備することができている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 精神疾患を有する妊産婦の支援、災害時における周産期医療体制の整備についての協議会において検討が行われていない。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新たに発生する周産期に関する課題を随時把握し、それに対する解決策を検討していく必要があるため、継続して事業を実施する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	